World Platinum Investment Council

PRESS RELEASE

英ロンドン、2026 年 11 月 18 日午前 6 時 00 分

2027 年のプラチナ市場は 9 トンの供給不足に転じる見通し　投資需要の回復と産業需要の継続的な拡大で

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルの Trevor Raymond（トレヴァー・レイモンド）CEO は、次のように述べています。

「WPIC による 2027 年の初回予測では、市場が再び供給不足に転じることが示されています。これは、価格上昇への期待と製品供給量の増加の両方に支えられた、地金およびコインの堅調な伸びによる投資需要が主な要因となっています。さらに、産業需要は 3 年連続の増加が見込まれており、同分野がプラチナ需要全体の長期的な伸長をけん引する主な原動力であり続けていることが強調されています。

プラチナの地上在庫は、3 年連続の大幅な供給不足を経て、2026 年には供給過剰が予測されているものの、依然として極めて低い水準にとどまっています。プラチナの戦略的重要性はますます高まっており、需要拡大の新たな局面をけん引するとともに、投資対象としてのプラチナの魅力を裏付けています。直近では、AI 関連用途での採用や、主要経済国における重要鉱物リストへの指定がその証左となっています」

2026 年通年予測（更新版）

- プラチナ市場は 15 トンの供給過剰と予測。予想を上回る純投資流出を主因として、供給過剰幅が前回予測から拡大
- 産業需要は AI 関連用途に押し上げられ、さらに上方修正（+6 トン）されて 80 トンとなる見通し
- 自動車需要は原油高にもかかわらず比較的底堅く推移し、92 トン（前年比-3%）となる見通し
- 宝飾品需要は、特に中国での低迷を反映し、20%減の 55 トンに落ち込む見通し
- 市場の供給過剰が予測されているものの、2026 年末時点の地上在庫は世界のプラチナ需要の 3.5 か月分をわずかに上回る水準にとどまる見通し。これは、2025 年の供給不足がさらに拡大し、WPIC による統計の開始以来最大となる 48 トンに達したと推計されることを受けたもの

2027 年通年予測（初回）

- プラチナ市場の需給は、総需要の伸び（12%増）が総供給の伸び（1%増）を上回ることで、24 トン変動し、9 トンの供給不足に転じる見通し
- 主な要因は投資資金の純流入への回帰であり、その主因となる地金およびコインの需要は 55%増の 14 トンに拡大する見込み
- 産業需要は引き続き拡大し、4%増（+3 トン）の 83 トンと WPIC の統計開始以来の最高を更新し、自動車需要の 5%減少（-5 トンの 87 トン）を一部相殺する見通し
- 宝飾品需要は低迷が続き、需要はさらに減少して 53 トンとなる見通し
- 地上在庫は 56 トンに減少し、2027 年末時点で世界の需要を賄うには 3 か月分をわずかに下回る水準となる見通し

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル（WPIC®）は本日、2026 年第 3 四半期の *Platinum Quarterly* を発表し、2026 年の通年予測（更新版）および 2027 年の通年予測（初回）が盛り込まれています。

2026 年第 3 四半期のプラチナ市場は、3 トンの供給不足を記録しました。総供給量は前年同期比 6%減の 53 トンとなり、リサイクル量の増加で一部相殺されたものの、南アフリカの鉱山生産量の減少が響きました。総需要は前年同期比 17%減の 56 トンとなりました。自動車用および宝飾品需要の低迷に加え、純投資需要の大幅な減少が要因です。一方、産業需要は化学、電気、ガラス、水素関連用途での伸びに支えられ、6%増加しました。

2026 年通年のプラチナ市場の供給過剰幅は、主に投資需要が 2026 年第 2 四半期時点から 9 トン下方修正されたことにより、前回見通しから拡大して 15 トン（+7 トン）になると予測されています。総供給量は、前年比 2%増（+4 トン）の 229 トンになると見込まれています。総需要は、主に上場投資信託（ETF）の売却と取引所在庫からの流出により、前年比 21%減（-58 トン）の 215 トンになると予測されています。

前年の数値修正により 2025 年の供給不足推計値が 48 トンへと拡大したため、2026 年の供給過剰が地上在庫（AGS）に与える影響は緩和されています。その結果、2026 年の地上在庫（AGS）は年末までに 65 トンに増加し、世界の需要の 3.5 か月分をわずかに上回る水準になると予測されています。

2027 年通年の初回予測では、総供給量は前年比でほぼ横ばいの 231 トン（+1%、+2 トン）になると見込まれています。総需要は 12%増の 239 トン（+24 トン）に達する見通しで、地金およびコイン需要が 55%増（+5 トン）の 14 トンに伸びることを主因に、投資需要が 16 トンに拡大すると見込まれるためです。産業需要が過去最高の 83 トン（+4%、+3 トン）に達し、自動車需要（-5%、-5 トン）および宝飾品需要（-3%、-2 トン）の減少を一部相殺する見込みです。2027 年の地上在庫（AGS）は年末までに 56 トンに減少し、世界の需要の 3 か月分をわずかに下回る水準になると予測されています。

2027 年の総供給量は、リサイクルによる供給増が寄与し、わずかながらも 1%の伸びとなる見込み
2026 年の世界のプラチナ鉱山供給量は、南アフリカでの増加が他地域の減少を上回るため、前年比 1%増（+1 トン）の 174 トンになると予測されています。リサイクル供給は前年比 6%増（+3 トン）の 55 トンになる見込みです。この増加は、自動車触媒リサイクルが 13%回復して 43 トンになることによるものですが、一方で宝飾品リサイクルは 21%減の 9 トンとなり、本統計の開始以来最低の水準に落ち込む見通しです。産業用リサイクルは 9%増の 3 トンになると予測されています。

2027 年の世界の鉱山供給量は、南アフリカの生産減少がジンバブエでの増加によって一部相殺されるものの、前年比 1%減（-1 トン）の 173 トンになると予測されています。リサイクル供給は、主に白金族金属価格の上昇を前提として、5%増（+2 トン）の 57 トンになると予測されています。自動車触媒リサイクルは 5%増の 46 トンになると見込まれる一方、宝飾品リサイクルはほぼ横ばいになると予測されています。産業用リサイクルは、AI 関連の処理能力への投資やデータセンター機器のアップグレードが継続するとの見込みから、電子機器のリサイクル活動の拡大に支えられ、9%増加すると予測されています。

自動車需要は原油高にもかかわらず底堅さを維持
今年の自動車需要は、前年比3%減（-3トン）の92トンになると見込まれています。

2027年の自動車需要は、5%減（-5トン）の87トンに減少すると見込まれています。新たな排出ガス規制の導入やハイブリッド化のトレンドが引き続きプラチナの自動車需要を下支えしているものの、駆動系の電動化の進展により需要の浸食が続いており、現在ではプラチナからパラジウムへの一部代替もみられます。

価格と個人消費の低迷が引き続きプラチナ宝飾品需要の重石に
2026 年の宝飾品需要は、前年比 20%減（-14 トン）の 55 トンに縮小すると予測されています。この縮小は中国に集中しており、同国では昨年の大幅な在庫積み増しの反動、消費者需要の低迷、および業界における金選好の再燃により、製造量が急減しています。北米を除く他のすべての市場でも低迷がみられました。

2027 年の予測では、中国、北米、日本でプラチナ宝飾品の製造量が減少するため、宝飾品需要はさらに 3%（-2 トン）減少して 53 トンになると見込まれています。欧州とインドにおける製造量は、前年比でほぼ横ばいになる見通しです。

2027 年の産業需要は過去最高となる見通し

2026 年通年の産業需要は、AI 関連用途がガラス（+30%）と電気（+35%）の双方の需要を大幅に押し上げるため、前年比 9%増（+7 トン）の 80 トンになると予測されています。

2027 年の産業需要は、過去最高の 83 トン（+4%、+3 トン）に達すると予測されています。生産能力の増強がないことで、ガラス需要（-11%）および電気需要（-35%）は循環的な減少が見込まれるものの、化学需要の力強い伸び（+29%）と石油需要の回復（+30%）がこれを十分に相殺する見通しです。水素関連のプラチナ需要は、プロジェクトが機器の納入および試運転の段階に進むなかで、固体高分子形（PEM）水電解装置への需要拡大が主なけん引役となり、前年比 49%の増加が予測されています。

プラチナ投資需要は 2027 年に力強く回復する見通し

2026 年通年の予測では、12 トンの純投資流出が見込まれています。2026 年を通じて、地政学的およびマクロ経済的環境がプラチナ、そして時には貴金属市場全体の足かせとなっており、金利の方向性をめぐる不透明感などの要因から、市場は価格変動に見舞われました。これが 2026 年の投資需要予測に影響を与えており、現在では ETF の売却による 15 トンと取引所在庫からの流出による 9 トンが見込まれています。さらに、地金およびコインの需要は前年比で大幅に減少し、9 トン（-28%、-3 トン）になると見込まれています。

2027 年に目を向けると、地金およびコインの需要が 14 トン（+55%、+5 トン）に達することを前提として、投資需要は 16 トンの純投資流入になると予測されています。対照的に、ETF 保有高は、市場でプラチナ価格の上昇が期待されているにもかかわらず、2027 年にさらに 5 トン減少すると予測されています。さらなる利益確定売りや PGM 鉱山株への資金シフトが、資金流出継続の要因になると見込まれています。

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルの Trevor Raymond（トレヴァー・レイモンド）CEO はまた、次のように述べています。

*「目先の投資サイクルの先を見据えると、供給の伸びの制約、歴史的低水準にある地上在庫、そして 2027 年以降に再び供給不足に転じるとの予測に特徴づけられるように、プラチナ市場のファンダメンタルズは依然として強固です。これらすべての要因を**総合すると**、**市場の需給が引き締まった状況にあり**、プラチナ投資の長期的な魅力を強化し続けています」*

プラチナ需給バランス（トン）	2023	2024	2025	2026年予想	2027年予想	2026年予想 / 2025年成長率（%）	2027年予想 / 2026年予測成長率（%）	2025年第3四半期	2026年第2四半期	2026年第3四半期
供給										
製錬高	**174**	**180**	**173**	**174**	**173**	**1%**	**-1%**	**44**	**47**	**39**
南アフリカ	123	129	123	127	125	3%	-1%	32	34	26
ジンバブエ	16	16	16	16	16	-3%	6%	4	5	4
北米	9	8	7	6	6	-9%	1%	2	1	2
ロシア	21	21	21	20	20	-5%	0%	5	5	6
その他	6	6	6	6	6	-2%	0%	2	1	2
生産者製品在庫における増減（-/+）	+0	+0	+0	+0	+0	-100%	N/A	-1	-1	+1
鉱山総供給量	**175**	**180**	**173**	**174**	**173**	**1%**	**-1%**	**43**	**45**	**40**
リサイクル	**47**	**48**	**52**	**55**	**57**	**6%**	**5%**	**13**	**14**	**13**
自動車触媒	35	36	38	43	46	13%	5%	10	12	10
宝飾品	10	9	11	9	9	-21%	1%	3	2	2
工業	2	2	3	3	3	9%	9%	1	1	1
総供給量	**222**	**228**	**225**	**229**	**231**	**2%**	**1%**	**56**	**60**	**53**
需要										
自動車	**100**	**97**	**95**	**92**	**87**	**-3%**	**-5%**	**23**	**24**	**22**
自動車触媒	100	97	95	92	87	-3%	-5%	23	24	22
ノンロード	†	†	†	†	†	N/A	N/A	†	†	†
宝飾品	**58**	**62**	**69**	**55**	**53**	**-20%**	**-3%**	**15**	**14**	**13**
工業	**78**	**81**	**73**	**80**	**83**	**9%**	**4%**	**20**	**20**	**21**
化学	26	20	18	19	25	9%	29%	5	4	6
石油	5	5	6	4	5	-28%	30%	1	1	1
電気	3	3	6	9	6	35%	-35%	2	2	2
ガラス	15	23	13	17	15	30%	-11%	5	5	5
医療	9	10	10	10	11	3%	3%	3	3	3
水素経済	1	1	2	2	4	8%	49%	1	1	1
その他	19	18	18	18	17	-2%	-2%	4	4	4
投資	**12**	**22**	**36**	**-12**	**16**	**N/A**	**N/A**	**9**	**-4**	**-0**
地金およびコインの増減	10	6	12	9	14	-28%	55%	3	1	1
中国における500g以上の地金	4	5	5	3	3	-38%	2%	1	1	1
ETF保有高の増減	-2	9	6	-15	-5	N/A	N/A	-5	-7	1
取引所在庫の増減	0	2	12	-9	3	N/A	N/A	11	2	-3
総需要	**247**	**262**	**273**	**215**	**239**	**-21%**	**12%**	**67**	**54**	**56**
需給バランス	**-25**	**-35**	**-48**	**15**	**-9**	**N/A**	**N/A**	**-11**	**6**	**-3**
地上在庫	****133**	**99**	**51**	**65**	**56**	**29%**	**-13%**			

出典：Metals Focus 2023 年～2027 年（予測）

注記：

1. **2018 年 12 月 31 日現在の地上在庫 3,650 koz（Metals Focus）
2. †オフロード自動車需要は、自動車触媒需要に含まれる

-以上-

メディア関連のお問い合わせは、Elephant Communications
（wpic@elephantcommunications.co.uk ）までご連絡ください。

編集者への注記：

Platinum Quarterly について
Platinum Quarterly は世界のプラチナ市場を四半期ごとに分析するもので、独立した立場で実施され無料で提供される業界初のレポートです。*Platinum Quarterly* は、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル（WPIC）の刊行物です。WPIC が委託し、白金族金属市場の権威ある独立機関である Metals Focus が実施した調査と詳細な分析に主に基づいて作成されています。過去の *Platinum Quarterly* レポート（英語、中国語、日本語、韓国語）およびプレスリリース（フランス語、ドイツ語、スペイン語）のアーカイブはこちらからご覧いただけます。

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル（WPIC®）について
ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル（WPIC）は、現物プラチナ投資に関する世界市場の権威として、客観的で信頼できるプラチナ市場情報に対する投資家の高まる需要に応えるべく設立されました。WPIC の使命は、行動可能な見識と目標を定めた商品開発を通じて、現物プラチナに対する世界の投資需要を喚起することにあります。WPIC は、南アフリカの主要プラチナ生産者によって 2014 年に設立されました。WPIC の加盟会社は、Valterra Platinum、Implats、Northam Platinum、Sedibelo Platinum、Tharisa、Bravo Mining、Podium Minerals です。詳細は、ウェブサイト www.platinuminvestment.com をご覧ください。

WPIC ロンドン事務局：World Platinum Investment Council, Foxglove House, 166 Piccadilly, London, W1J 9EF

WPIC 上海事務所：World Platinum Investment Council, Unit 1612, Shui On Plaza, No. 333 Middle Huaihai Road, Huangpu District, Shanghai, P.R.China

Metals Focus について
Metals Focus は、世界の大手貴金属コンサルティング会社の 1 つで、世界の金、銀、白金族金属市場の調査を専門とし、定期的なレポート、予測、特注のコンサルティングを行っています。Metals Focus のチームは 11 の法域に分散し、世界中の多数の情報源を網羅しています。これを活かし、Metals Focus は、貴金属市場に関する世界レベルの統計、分析、予測を提供することに特化しています。詳細は、www.metalsfocus.com をご覧ください。

プラチナについて
プラチナは世界で最も希少な金属の 1 つで、独特の物性を持つため、様々な需要分野において高く評価されています。プラチナ特有の物性および触媒活性は、工業利用においてその価値を確立しています。同時に、貴金属としての独自の特性により、高級宝飾品にも使用されています。

プラチナには、主に鉱山での生産とリサイクルの 2 つの供給源があります。後者は使用済み自動車触媒と宝飾品のリサイクルによるものが主流です。プラチナの過去 5 年間の年間総供給量（精製済みオンス）は、その 75%～79%が鉱山で生産されたものです。

世界のプラチナ需要は堅調で、ますます多様化しています。プラチナ需要には、自動車、産業、宝飾品、投資の 4 つの主要分野があります。過去 5 年間の自動車触媒によるプラチナ需要は、総需要の 36%から 44%を占めています。自動車以外の産業分野におけるプラチナの多様な用途は、世界総需要量の 30%を占めています（過去 5 年間の平均）。同期間において、宝飾品における世界の年間総需要は、平均で、プラチナ総需要の 27%を占めています。投資はプラチナ需要の中で最も変動が大きく、過去 5 年間は総需要の-8%から 14%を占めています（投資家が保有する未公表の保有残高の変動を除く）。

免責事項

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルおよび Metals Focus は、いずれも投資に関する助言を提供するための規制機関による許可を受けていません。本書のいかなる部分も、投資に関する助言、証券もしくは金融商品の販売の提案または購入の助言を意図するものではなく、そのように解釈されるべきでもありません。投資を行う前には必ず適切な専門家による助言を受けてください。